

地域を思うまちづくり委員会 年間事業計画書（案）

1. 委員会構成メンバー ◎足立 隼人、○山崎 達矢、永井 悠、永島 史加

2. 委員長所信（基本方針）

安来市には海、山、川等の魅力的な地域資源が多くあります。その中で誰もが知っているシンボルとして中海と月山があります。中海は4つの市をまたがり、かつては物流の航路として活用され、周辺の産業が発展し賑わった結果、安来節等の文化形成にも深く関係しました。また、月山といえば、かつて難攻不落の城として名を馳せた今なお日本を代表する山城、月山富田城がありました。しかし、これらの地域資源について、現状は行政による観光客向けのPR等が行われていますが十分に活用されているとはいえません。行政に任せるだけではなく、安来市民自らも地域資源に触れ、その魅力を未来へ繋げる持続可能なものへとしていく必要があります。

そこで我々は、今一度かつてを思い地域資源の恩恵である中海や月山等についての可能性、活用性を考え、その魅力を安来市民一人ひとりに再認識していただくことで、まちに対しての郷土愛と誇りをもった人を一人でも多く増やしていきます。思いを持って活動する人は輝いて見え、その行動一つひとつが多くの人へ魅力的に映り、新たな人を動かす力となります。

人がまちをつくり、まちが人をつくります。そこにかつてを思い、先人たちから連綿と受け継がれてきた安来市を想うまちづくりの精神と、令和という時代の新たな価値と、魅力的な地域資源を合わせることで永続的なまちへと確かなものとなっていきます。

かつてを思い、地域を思い、明るい豊かな社会の実現にむけて、委員会一丸となって運動を行ってまいります。

3. 事業計画

1) 3月例会の開催（3月）

（目的）地域資源の活用方法を考えるとともに、郷土愛の向上をはかります。

（方法）地域資源の活用方法を考える場を提供します。

2) 6月例会の開催（6月）

（目的）地域資源をいつまでもあるものとは考えず、先の未来へ存続させていくため、持続可能な社会に向けて、自分自身がどう行動していくべきかを考えてもらいます。

（方法）地域資源を未来につなげていく方法を考える場を提供します。

3) 11月例会並びに第167回通常総会

（目的）総会を開催し定款第3章第17条の事業計画及び収支予算の決定並びに変更、役員を選任及び解任、その他事項について決議します。

（方法）通常総会を厳粛に滞りなく開催します。

4) 卒業生を送る会の開催（11月）

（目的）卒業生のこれまでの功績に敬意を表し感謝を込めて盛大に送り出します。

（方法）卒業生へ卒業証書授与並びに記念品の贈呈を行い、思いのたけを語っていただきます。

5) 広報紙ふれあい（年末号）の編集発刊（12月）

（目的）安来市民の皆様に一年の運動の成果を周知します。

（方法）広報紙ふれあい（年末号）を発刊します。安来市内山陰中央新報購読者対象。